

ニュースレポート 中央会

NEWS REPORT CHUOUKAI

2017

12

DECEMBER

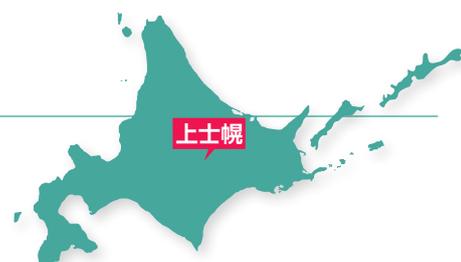
No.741



北海道の美術館・博物館シリーズ 上士幌町

「ひがし大雪自然館」

ひがし大雪自然館は、大雪山国立公園の東大雪地域を中心に自然や歴史を紹介するとともに、リアルタイムな地域の情報を発信する施設です。東大雪地域の山々や多様性に富んだ生態系をグラフィックパネルや映像、剥製標本の展示により紹介しています。特に人気の展示は、約1万点を誇る大雪山や世界の昆虫コレクション。当館は、東大雪の自然や観光情報を幅広く発信する案内拠点として、訪れる人たちに親しまれています。



CONTENTS

「ひがし大雪自然館」のご紹介	
個人住民税の特別徴収について	
秋の叙勲・褒章	1
全道大会の決議に基づく要望活動	2
自民党北海道支部連合会、自民党札幌市支部連合会、公明党北海道本部に対し要望／北海道青年中央会研修会開催	3
第69回中小企業団体全国大会 開催報告	4
ビジネス EXPO	
「第31回北海道技術・ビジネス交流会」開催	5
平成29年度労働事情実態調査①	6

業界こぼれ話（銚鉄鋳物の話）	8
石田邦雄の人を紡ぎ組織を育む③	9
ものづくり補助金活用事例紹介 ～株式会社土谷特殊農機具製作所～	10
10月の道内景況	12
支部だより	14
中小企業大学校旭川校からのお知らせ	16
中小企業基盤整備機構からのお知らせ	



北海道中小企業団体中央会

● 「ひがし大雪自然館」のご紹介 ●

所在地 〒080-1403
河東郡上士幌町字ぬかびら
源泉郷 48 番地 2

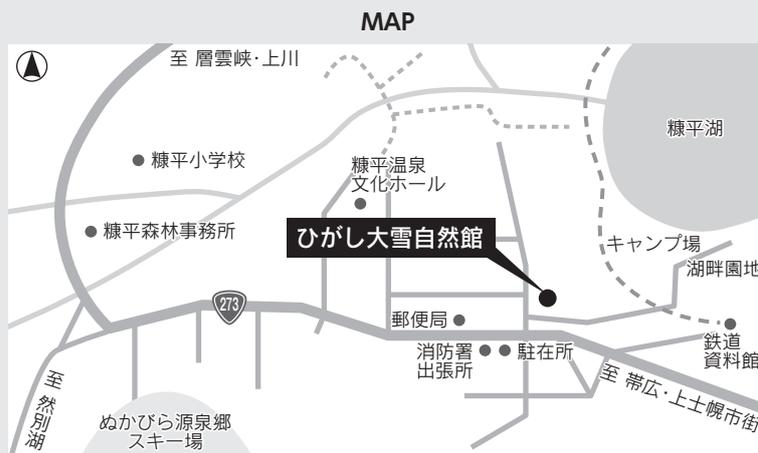
TEL 01564-4-2323

開館時間 午前 9 時～午後 5 時
(7・8 月は午前 8 時～)

定休日 水曜日 (祝日の場合はその翌日)、
12 月 30 日～1 月 5 日

入館料 無料

HP <http://www.ht-shizenkan.com>



個人住民税は特別徴収で納めましょう！

まだ特別徴収を行っていない事業主の皆様には、この制度をご理解の上、市町村への手続きを行っていただきますようお願いいたします。詳しくは、従業員の住所地の市町村(個人住民税課税担当課)にお問い合わせください。

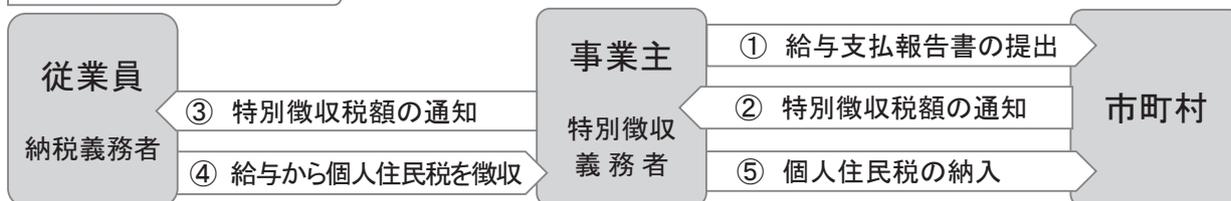
特別徴収とは

個人住民税(市町村民税+道民税)の特別徴収とは、給与の支払者である事業主が、従業員に毎月支払う給与から個人住民税を徴収(天引き)し、従業員の住所地の市町村に納入する制度であり、地方税法第321条の4及び各市町村の条例で規定されている義務です。

この特別徴収の義務を有する事業主を「特別徴収義務者」といいます。

地方税法等の規定により、所得税を源泉徴収している事業主は、個人住民税の特別徴収義務者になります。

特別徴収のしくみ



- ① 毎年1月末までに、事業主が、従業員の住所地の市町村へ給与支払報告書を提出します。
- ② 毎年5月末までに、市町村が、事業主(特別徴収義務者)に特別徴収の税額を通知します。
- ③ 毎年5月末までに、市町村が、事業主を経由して従業員(納税義務者)に特別徴収の税額を通知します。
- ④ 6月以降の給料日毎に、事業主が、従業員の給与から個人住民税を徴収(天引き)します。
- ⑤ 徴収した翌月10日までに、事業主が、徴収した個人住民税を市町村に納入します。

北海道と道内全市町村は、平成29年10月に個人住民税推進宣言を採択し、特別徴収の徹底に取り組んでいます。

お詫びと訂正

11月号の寄稿『税理士が3分解説! 「法人が支給する退職金の税務上のアレコレ」』内において退職所得控除の計算式の一部に誤りがありました。正しくは下記のとおりとなります。ご迷惑をおかけした皆様には深くお詫び申し上げます。

退職所得控除額について

(2) 勤続年数20年超の場合

(誤) 800万円 \times (70万円 \times (勤続年数 - 20年)) \rightarrow (正) 800万円 \pm (70万円 \times (勤続年数 - 20年))

受章おめでとうございます

秋の叙勲・褒章

～本会関係者5名が栄誉に輝く～

各業界における長年の優れたご功績によって、平成29年秋の叙勲・褒章を受章された本会関係者をご紹介します。

栄えある受章を心からお祝いし、今後ますますのご隆盛をお祈りします。

旭日小綬章



宮川 隆昌 氏

網走国際交流協同組合 元理事長

旭日双光章



高橋 一雄 氏

北海道消防設備事業協同組合 理事長

旭日双光章



浜出 雄一 氏

函館工業団地協同組合 監事

瑞宝双光章



鈴木 近彦 氏

かみしほるバルーンスタンプ協同組合
理事

黄綬褒章



島本 幸一 氏

協同組合釧路エンジニアリングセンター
理事長

全道大会の決議に基づく要望活動

11月7日、尾池会長と副会長6名が本年度の中小企業団体全道大会(8月2日、札幌市にて開催)で決議された地域経済活性化対策の実施など中小企業施策に関する6項目について、北海道議会及び札幌市に対し要望を行った。

当日は、北海道議会の大谷 亨議長、経済委員会の橋本豊行委員長と吉川隆雅副委員長、自民党・道民会議商工業振興議員連盟 布川義治会長、また、札幌市は小西正雄経済観光局長に対し、尾池会長から要望書を手渡し、道内の中小企業・小規模事業者の厳しい現状を訴え、要望の実現をお願いした。



大谷 亨議長に要望書を手渡す尾池会長



橋本豊行委員長に要望書を手渡す尾池会長



布川義治会長に要望書を手渡す尾池会長

中小企業の振興・発展に向けた要望6項目

1. 地域経済活性化対策

地域の疲弊を食い止めるために

2. 景気対策

地域や中小企業・小規模事業者に広範に景気回復を波及させるために

3. 人材・雇用対策

求める人材を確保・育成し、良好な雇用環境を整えるために

4. 中小企業・小規模事業者対策

地域とともに持続的に発展していくために

5. 官公需対策

受注の確保・増大と官公需適格組合制度の浸透のために

6. 商店街対策

地域に根ざしたコミュニティ機能の充実を図るために



要望を行う尾池会長



説明を行う福迫専務



小西正雄局長に要望書を手渡す尾池会長

自民党北海道支部連合会、自民党札幌市支部連合会、 公明党北海道本部に対し要望

11月10日、札幌市本庁舎において自由民主党札幌市支部連合会政策要望懇談会、11月18日、札幌グランドホテルにおいて公明党北海道本部政策懇談会、11月21日、北海道議会において自由民主党北海道支部連合会団体政策懇談会が開催され、それぞれに尾池会長が出席し、要望を行った。



自民党北海道支部連合会政策懇談会



自民党札幌市支部連合会政策要望懇談会



公明党 北海道本部政策懇談会

北海道中小企業青年中央会 平成29年度第2回講習会及び交流懇談会を開催！

10月18日、帯広市のとかちプラザにおいて北海道中小企業青年中央会(小林正直会長、会員64青年部)主催による第2回講習会が開催された。

この講習会は、企業後継者や若手経営者の育成と資質向上を図ることを目的として、年3回開催しており、平成27年度からは会員間の交流を拡大するため、札幌市以外の地域でも開催している。

今回は、十勝バス株式会社の野村文吾社長を講師に迎え、「お客様密着！で地域に貢献する十勝バスの経営」をテーマに十勝バスの歴史、奇跡の復活を果たした手法や企業を成長させる取組について講演をしていただいた。野村社長の熱い思いがストレートに伝わるお話に、参加者



野村社長

はみな熱心に聞き入っていた。

講習会終了後、会場を市内老舗レストランふじもりに移して交流懇談会を開催し、業界の垣根を越えた交流を図った。

北海道中小企業青年中央会では、次代を担う若手経営者・後継者を対象に知識やノウハウの習得のために、講習会などを開催しています。組合青年部の方々のご参加を、心よりお待ちしております。



熱心に聞き入る青年中央会メンバー

団結は力 見せよう組合の底力!

第69回中小企業団体 全国大会開催

～地方創生は連携による地域力アップと強力な発信～



「団結は力 見せよう組合の底力!」を合言葉に、第69回中小企業団体全国大会が長野県松本市において、全国から約2,500名(うち北海道27名)が参加し開催された。

開会后、主催者の大村功作 全国中央会会長と開催地の春日英廣 長野県中央会会長からの挨拶に続き、来賓を代表して3名の方から祝辞を受けた。



春日長野県中央会会長

議事は、春日長野県中央会会長が議長となって進められ、「実感ある景気回復と中小企業・小規模事業者の生産性向上支援等の強化」「地域活性化を担う中小企業・小規模事業者に対する支援の拡充」など、全国の中小企業・小規模事業者の持続的発展を実現するための中小企業対策の拡充に関する16項目を決議した。

議事終了後、吉江慎太郎 長野県青年中央会会長から大会宣言が読み上げられ、満場の賛同を得て採択された。

引き続き、優良組合43組合、組合功労者71名、中央会優秀専従者27名の表彰式が行われ、本会から優良組合として室蘭自動車整備協同組合が、組合功労者として網走中央商店街振興組合 田中雄一理事長、岩見沢管工事業協同組合 新川勝久理事長、北海道青果商業協同組合 西本伸顯理事長、函館機械金属造船工業協同組合連合会 村瀬 充理事長の4名が表彰



表彰式に出席した新川理事長

された。

最後に、次回開催地を京都府とすることが発表され、大会旗が渡邊隆夫 京都府中央会会長に引き継がれ閉会した。



屋神温泉での記念撮影

大会に併せて企画した恒例の本会オリジナルツアー(3泊4日)には18名が参加し、江戸時代から変わらない街並みが残る郡上八幡や世界文化遺産に登録されている白川郷、日本唯一の2階建てゴンドラ・新穂高ロープウェイなどを巡り、交流と親睦を深めた。

全国大会決議

I. 実感ある景気回復と中小企業・小規模事業者の生産性向上支援等の強化

景気回復を実感できる対策の加速化／中小企業・小規模事業者の生産性向上・経営力強化に対する支援の拡充／中小企業組合等に対する支援の拡充

II. 地域活性化を担う中小企業・小規模事業者に対する支援の拡充

事業承継、事業再生・再編等に対する支援の拡充／官公需対策の強力な推進／海外展開に対する支援の拡充／まちづくりの推進・商業集積に対する支援の拡充、商取引の適正化

III. 震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充

熊本地震、鳥取県中部地震、東日本大震災、豪雨災害に対する復旧・復興の更なる推進／福島復興・創生に向けたきめ細やかな対策の実施／地域の防災・減災対策の強化

IV. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

中小企業金融施策の拡充／中小企業・組合税制の拡充／中小製造業等の持続的発展の推進／卸売・小売業、サービス業、物流業に対する支援の拡充／優越的地位の濫用に係る独禁法の執行強化／中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保障対策の推進



北海道最大級のビジネスイベント

ビジネスEXPO 第31回北海道技術・ビジネス交流会開催！

11月9日、10日の2日間にわたり、道内最大級のビジネスイベント「ビジネスEXPO 北海道技術・ビジネス交流会」がアクセスサッポロで開催された。

31回目となる今年は、「躍動、革新、北海道！」をテーマに、道内を中心に345社・団体が出展し、2日間で20,850人の来場者を集めるなど過去最大規模の開催となった。

開会式には、本会尾池会長も出席し、北海道 辻 泰弘副知事、実行委員長であるノーステック財団 高橋賢友理事長、北海道経済産業局 児嶋秀平局長、札幌市 町田隆敏副市長らとともに、テープカットを行った。



会場内は、5つのブロックに分かれ企業や研究機関などが新技術や新製品をPRしたほか、「ものづくりなでしこゾーン2017」など7つの同時開催事業や野球評論家の桑田真澄氏などによるビジネスセミナー、学生向けの企業説明会など多彩な展示やイベントが行われた。

また、昨年に引き続き、本会が事務局を担っている「ものづくり補助金」の成果事例発表会のエリアも設置され、20社が出展し、開発した製品や技術の紹介を行った。訴求力の高いブースには、多くの来場者が足を止め、興味深く説明を聞く姿が見られ、盛況のうちに終了した。

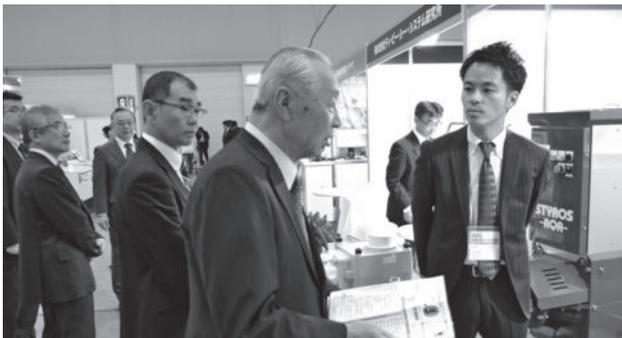


ものづくり補助金 成果事例発表会 出展企業(五十音順)

株式会社アイエス
株式会社アクト
有限会社伊藤畜産
株式会社エスピー工研
株式会社エルコム
株式会社ケイ・アイ・ディ
シオン電機株式会社

有限会社スカイワーク
株式会社土谷特殊農機具製作所
株式会社ディ・ビー・シー・システム研究所
日中物産白糖工場株式会社
株式会社ネイビーズ・クリエイション
株式会社ノースプラン
株式会社ハイテックシステム

株式会社富貴堂ユーザック
北海道はまなす食品株式会社
株式会社堀本工作所
松原産業株式会社
株式会社丸二永光水産 マルニ札幌清田食品
株式会社YSE



ものづくり出展企業の説明を熱心に聞く尾池会長



多くの来場者で賑わう
ものづくり補助金成果事例発表会エリア

本会では、昭和39年度より毎年全国の中央会との統一様式により『中小企業労働事情実態調査』を実施している。本年度も7月1日を調査時点として道内の従業員数300人以下の1,500事業所を対象に行った。(回答事業所数：795事業所、回答率：53.0%)

調査内容は、時系列調査項目である従業員構成、労働組合の有無、経営状況、労働・残業時間、有給休暇付与・取得日数、新規学卒者の採用状況及び採用計画、賃金改定状況のほか、5年ぶりとなる障害者雇用や、新たに従業員の過不足状況に関する項目を追加した。

この調査結果の要点を今月号から2回にわたって掲載する。(詳細は本会ホームページに掲載)

1 経営

(1) 1年前と比べた経営状況

1年前と比べた経営状況は〈図1〉のとおり、全業種で見ると、「良い」が19.2%で、「悪い」が20.4%であった。また、「良い」と回答した事業所は、製造業が19.9%、非製造業が18.9%であった。

業種ごとに「良い」と回答した事業所を比較すると〈図2〉のとおり。

製造業で最も多かったのは、「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品製造業」が36.0%、次いで「生産用・業務用・電気・情報通信・輸送用機械器具製造業」が26.3%と続いた。また、非製造業では、「情報通信業」が44.4%、「小売業」が22.4%、「卸売業」が22.2%であった。

全国と比較すると〈図3〉のとおり、「良い」と回答した事業所は、北海道が19.2%(前年14.3%：前年比4.9ポイント増)、全国は17.0%(前年14.0%：前年比3.0ポイント増)と、北海道は全国より大きく増加した。また、「悪い」と回答した事業所は北海道が20.4%(前年27.7%：前年比7.3ポイント減)、全国は26.7%(前年31.9%：前年比5.2ポイント減)と、北海道、全国ともに前年より減少しており、経営状況の改善傾向が見られる。

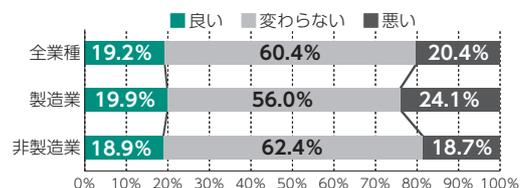
(2) 経営状況の年度別推移

経営状況の年度別(過去5ヶ年)の推移は、〈図4〉のとおり、今年度で「良い」と回答した事業所は、4.9ポイント増加した。

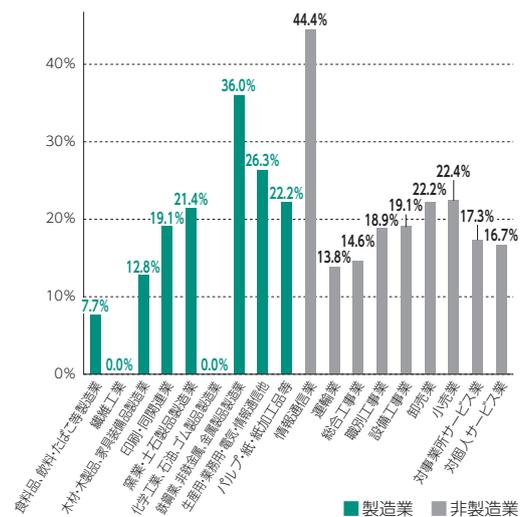
一方で「悪い」と回答した事業所は7.3ポイント減少した。

昨年度より「良い」の割合が増加し、「悪い」の割合が減少したが、いまだ2割以上の事業所が「悪い」と回答しており、「良い」が「悪い」を逆転することのない状況が続いている。

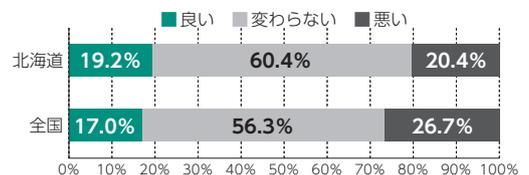
〈図1〉経営状況



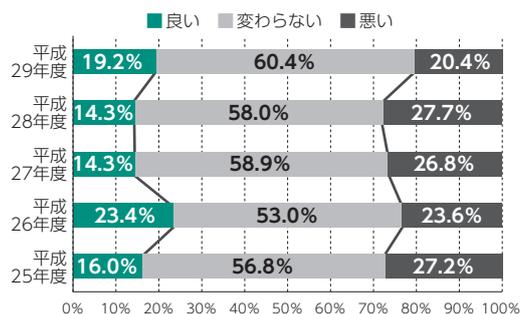
〈図2〉経営状況(業種別で「良い」と回答した事業所)



〈図3〉経営状況(全国比:全国中央会より)



〈図4〉経営状況の年度別推移



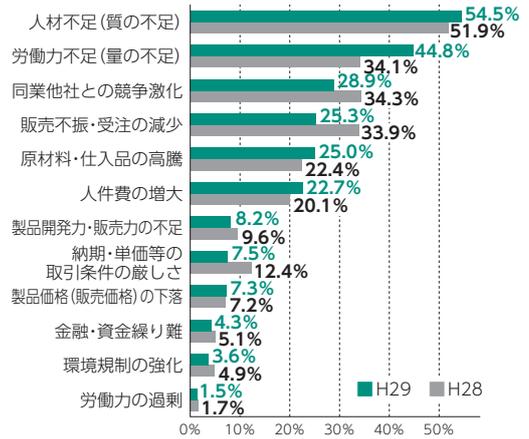
(3) 経営上の障害(前年比)

現在の経営上の障害は〈図5〉のとおり。

最も多かったのは、「人材不足(質の不足)」で54.5%、前年より2.6ポイント増加している。また、「労働力不足(量の不足)」においても44.8%と前年に比べ10.7ポイント増加した。特に「労働力不足(量の不足)」は昨年より大きく増加しており、不足感が増していることがわかる。

一方で、「販売不振・受注の減少」は25.3%で、前年から8.6ポイント減少した。

〈図5〉経営上の障害(前年比:複数回答)



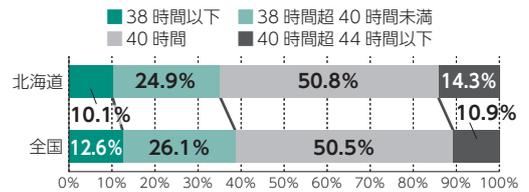
2 従業員の労働時間(パートタイマーなど短時間労働者を除く。)

(1) 従業員の週所定労働時間

従業員の週所定労働時間を全国と比較すると〈図6〉のとおり、「40時間超44時間以下」は北海道が14.3%、全国が10.9%で、北海道が3.4ポイント高く、「38時間以下」は北海道が10.1%、全国が12.6%で、北海道が2.5ポイント低かった。

※10人未満の商業、映画・演劇業、保険衛生業、接客娯楽業は、「週44時間」特例措置対象事業所

〈図6〉週所定労働時間(全国比)

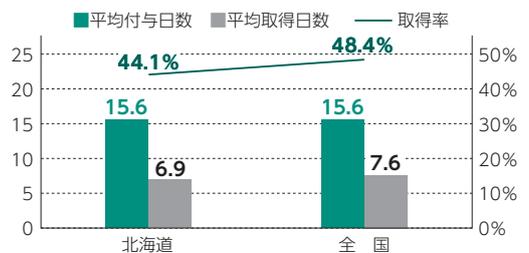


(2) 平成28年従業員1人当たりの年次有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率(全国中央会より)

年次有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率を全国と比較すると〈図7〉のとおり。

北海道の平均付与日数は15.6日で、全国平均と同じ日数である。しかし、北海道の平均取得日数は6.9日で、全国より0.7日少ない。その結果、取得率は北海道が44.1%で、全国平均より4.3ポイント低くなった。

〈図7〉年次有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率



3 賃金の改定(7月1日時点)

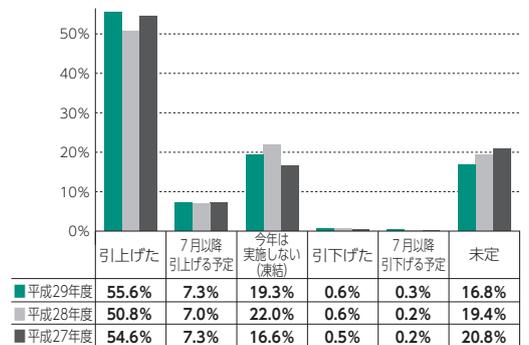
(1) 賃金改定(年度別)

年度別の賃金改定は〈図8〉のとおり、平成29年度調査では「引上げた」が55.6%で、前年度と比較して4.8ポイント増加した。また、「7月以降引上げる予定」も7.3%で0.3ポイント増加した。

一方、「今年度は実施しない(凍結)」は19.3%で前年度より2.7ポイント減少、「未定」は16.8%で前年度より2.6ポイント減少した。

なお、平成29年度は、「引上げた」、「7月以降引上げる予定」を合わせると62.9%が「引上げ」の方向にあり、昨年度より5.1ポイント上回った。

〈図8〉賃金改定(年度別)



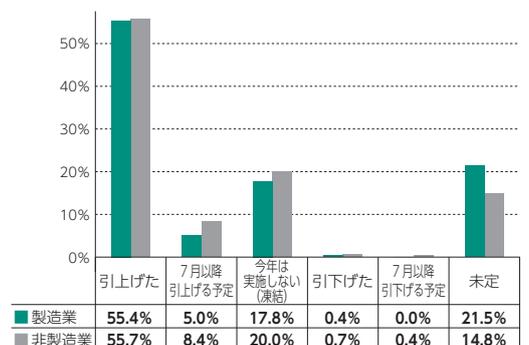
(2) 賃金改定(業種別)

業種別の賃金改定は、〈図9〉のとおり、製造業と非製造業で大きな違いは見受けられなかった。

「引上げた」は製造業が55.4%、非製造業が55.7%で、非製造業が0.3ポイント上回った。また、「7月以降引上げる予定」は製造業が5.0%、非製造業が8.4%で、非製造業が3.4ポイント上回った。

なお、「今年度は実施しない(凍結)」は製造業が17.8%、非製造業が20.0%で、非製造業が2.2ポイント上回り、「未定」は製造業が21.5%、非製造業が14.8%で、製造業が6.7ポイント上回った。

〈図9〉賃金改定(業種別)





組合の紹介

北海道銑鉄鋳物工業組合は、昭和45年3月に道内で銑鉄鋳物製造を行う事業者によって設立されました。主な事業は、組合員の事業に関する資料や情報の収集・提供のほか、情報交換会を実施しています。

鋳物の歴史

鋳物の歴史は古く、紀元前4000年頃、メソポタミアで生まれました。青銅を溶かして型に流し込み、器物や装飾品などを造ったのが始まりで、古代エジプトの壁画にも鋳物を製造する絵が残されています。

日本に鋳物づくりが伝わったのは、紀元前数百年頃で、1世紀に入ると銅鏡や刀剣などが造られるようになり、奈良時代に入ると仏像などが盛んに造られるようになりました。

その後、18世紀半ばにイギリスで起きた産業革命をきっかけに、工場による機械工業が発展し、鋳物が広く機械の部品等にも採用されるようになりました。

銑鉄鋳物って？

金属を1500℃に熱して溶かした後、砂などで作った型に流し込み、冷やし固めてできた製品を鋳物といいます。また、鋳物を造る工程を鑄造といい、鉄鉱石を溶かして取り出した銑鉄を原料に造られるので銑鉄鋳物と呼びます。

溶けた金属を流し込むだけなので、頑丈で複雑な形状をした製品を造ることができ、自動車の部品や上下水道のパイプ、マンホール、街灯、調理器具など日常のあらゆるところに鋳物製品が使われています。



世界最古の鉄橋
[アイアンブリッジ]

鑄造工程①～造型～

鑄造方法はさまざまですが、高温に耐えられ、何度も繰り返し固めて崩せることから、一般的に砂の型を使用した砂型鑄造が採用されています。

砂型には、砂に水やでんぱんを混ぜて機械でプレスし固める生型と、砂に樹脂や水などを混ぜて自然に固める自硬性型がありますが、砂の再利用のしやすさから、化学物質を混ぜていない生形が主流となっています。

鑄造工程②～注湯～

銑鉄やスラップ材、戻り材（製品以外の部分）を混ぜて溶かしたものに必要な化学成分で調整を行い、砂型に流し込む工程を注湯といいます。この工程が最も重要で、溶かした鉄に含まれる成分によって鋳物が脆くなるほか、注湯に時間がかかりすぎると、冷却時間が短くなり、変形や亀裂が生じるため、製造者の熟練が必要になります。



注湯

製造工程③～完成～

冷えて固まったら、砂型に振動を加えてばらし、鋳物を取り出し、さらにショットブラストと呼ばれる機械に製品を入れ、製品に無数のショット玉（鋼球）を当て、製品に付着している砂を丁寧に除去します。

その後、製品に残ったバリやその他不要な部分を削り、磨きや品質検査を行い、最後に塗装を施し鋳物製品が完成します。

安心安全を届けたい

近年、鋳物製品は重いことから、軽量化が進む自動車業界などでは強化プラスチックなど他の素材に移行しつつありますが、加工のしやすさやリサイクル度の高さなど利点が多いほか、皆さまの生活を支える部品が多いことから、今後もより安心安全な銑鉄鋳物製品を造り続けていきたいと考えています。

今回は、北海道銑鉄鋳物工業組合 事務局長 大平 亮氏よりご寄稿いただきました。ありがとうございました。

石田邦雄の

人を紡ぎ組織を育む

3



めでの研究室主宰
石田邦雄氏

会話を促進させる質問の重要性

質問が持つ意味

コミュニケーションとは送り手と受け手、両者間での「刺激」と「反応」のやりとりといえます。そこで重要な役割を果たすのが質問です。「質問上手は会話上手」といっても過言ではありません。

それではどのような時に質問をするのでしょうか。「話すきっかけを作る為」「より幅広い情報を収集する為」etc.この質問には「私の聞きたいことを聞く」という、自分の気持ちを優先した質問もあれば、相手のことを気かけながら、その人の自己洞察に結びつくような質問などもあつたりします。

あなたはどのような意味で、どんなスタンスで質問をしていることが多いでしょうか？自己点検をしてみることで、もしかするとあなた自身のコミュニケーションスタイルを知るヒントになるかもしれません。

ところでこの質問ですが、目的等により様々な種類があります。コーチングでは「過去質問と未来質問」「肯定質問と否定質問」などというように。ただここでは至極一般的な次の二つの質問に焦点をあてて考えてみましょう。一つは「閉ざされた質問」、もう一つは「開かれた質問」です。前者は「はい」や「いいえ」、あるいは幾つかの答えの中から選択をさせる質問などをいい、「聞き手の側が主導権を握って」といえるかもしれません。

その一方、後者は前者のように返答が限られている訳ではなく、答える側は考え方を述べたり自己開示をしたりする必要があり、事前の知識や心構え等が求められます。当然、この両者には一長一短があります。「閉ざされた質問」は簡単な問いかけに答えるということであり、あまり苦勞せずに答えることは出来ますが、反面、質問をする側が会話を誘導することになりかねず、多用すると「質問」というよりは、い

つしか「尋問」へと変わる可能性もあるので要注意です。

これに対して「開かれた質問」は、先述したように答えは無数にあり、自分の思いを話せる利点はあるものの、答える際にはそれなりの心積りが必要になります。

「質問をすること」は相手に関心のある証

具体的な例で考えてみましょう。「困ったことはありませんか？」…これは「閉ざされた質問」です。スタート時の人間関係を作る際や、最後のまとめに活用するのに有効です。一方、「困ったことについてお聞かせ頂けませんか？」は「開かれた質問」です。気持ちを吐露することに繋がり気づきを促すのに結びつき易いともいえます。大雑把な分け方になりますが、会議等を行う場合、話しを広げていこうとすると「開かれた質問」、逆に話をまとめたり収束を図る場合には「閉ざされた質問」が有効です。

このように質問をする際には、目的等によりやり方が異なってくるといえます。また私がよく活用するのが「円環的質問」です。とかく意見などが出ない時に「時計回りで」などと参加者の答えを求めがちです。これは“全員が口を開く”という点ではよいのですが、答えが単純化される傾向はいなめません。それよりも「Aさんの考え方についてDさんはどう思われますか？」などのような形で、ランダムに指名をし答えてもらう方がよいのではないのでしょうか。それにより、いつ質問の矢が飛んでくるかわからないなどで真剣度も増し、会議における一体感も膨らむように思います。

どちらにしても「質問をすること」は「相手に関心がある証」です。より良い人間関係を築く意味でも、上手に使いながらやりとりをしたいものです。

可動型アイスシェルターの開発による氷冷熱を利用した貯蔵の普及 氷を冷熱源とした高機能普及型低温熟成貯蔵システムの試作開発

第22回目は、「株式会社土谷特殊農機具製作所」(平成25年度中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業/平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金)の取組について紹介します。

会社の概要

株式会社土谷特殊農機具製作所は、昭和8年の創業以来、長年のノウハウを生かしたミルクパーラー(搾乳専用施設)や畜産管理システムなど地域の酪農家のニーズに応える製品の開発等を行っています。

「Think Globally, Act Locally(世界の技術を地域で実践)」の経営方針の下、家畜ふん尿を利用したバイオガスプラントや自然氷の冷熱を利用したアイスシェルターの開発普及にも力を注ぎ、再生可能エネルギーの可能性を追求しています。



アイスシェルター

ものづくり補助金申請の経緯

農作物は、大半が0℃を最適貯蔵条件とするため、一般的には冷蔵庫で貯蔵していますが、動力源はその多くが化石燃料からつくられる電気のため貴重な化石資源を消費してしまうほか、電力生産にともなって排出されるCO₂などによる地球環境への悪影響が懸念されています。

また、規模の大きな電気冷蔵施設は一定の温度を保つために冷却装置を頻りに運転させる必要があるほか、農産物の乾燥を防ぐために加湿を行うことが多く、電気の大量消費につながってしまいます。

それに対し、同社が開発してきたアイスシェルターは、冬にできた氷の冷熱を利用した新エネルギー型貯蔵庫で、電気を使わないため、環境負荷がない画期的なシステムです。

しかし、従来のアイスシェルターは、顧客によって仕様が異なり、それぞれの設置場所での施工になるため個別に設計や工事が必要となり、イニシャルコストが高くなってしまい、普及が進まない状況にありました。

そこで、アイスシェルターの製造技術をさらに高め、効率化・量産化による低価格販売を目的とした試作開発を行うため、平成25、26年度のものづくり補助金を活用しました。



貯蔵庫(手前)と水槽が積み重ねられた貯氷庫(奥)

アイスシェルターとは

アイスシェルターは、水と氷が共存する空間は潜熱(物質が状態変化する際に発生する熱エネルギーのこと)によって常に0℃に保たれるという自然現象を利用した貯蔵庫です。

内部は、貯氷庫と貯蔵庫の2室からできており、貯氷庫には水を張った水槽が積み重ねられ、高い湿度が保たれているほか、冬は冷気で氷を作り、水が凍るときの潜熱(発熱)で温度が下がるのを防ぎ、夏は氷が解けるときの潜熱(吸熱)で温度が上がるのを防ぐことで、1年を通して貯蔵庫内を一定の温度に保ちます。

株式会社土谷特殊農機具製作所

代表取締役 土谷 紀明

〒080-2461

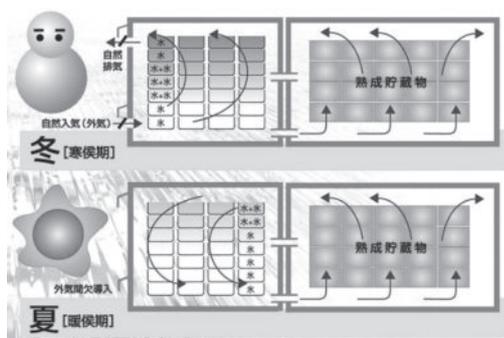
帯広市西21条北1丁目3番2号

TEL 0155-37-2161 FAX 0155-37-2751

HP www.tsuchiyanoki.com



また、潜熱によって自動的に庫内で気流が発生し空気が循環するため、換気扇も不要で電気エネルギーが全く必要ありません。



アイスシェルトアのしくみ

可動式アイスシェルトアの開発

平成25年度ものづくり補助金では、アイスシェルトアの外壁に遮熱塗料を塗布することで断熱性と貯蔵性能を飛躍的に向上させ、小型化を図り、貯氷庫と貯蔵庫を切り離し、貯蔵庫だけを移動できるユニット型を開発しました。そうすることで、貯蔵庫部分は工場生産できるようになり、施工期間の短縮と設置費用の低減になったほか、アイスシェルトアの可動化を実現しました。

そのほか、貯氷庫内の氷が解けきってしまったときに、再結氷させるための冷凍ユニットを開発することで、どこへでも製氷に行くことができ、いつでも簡単にアイスシェルトアの貯蔵性能を維持できるようになりました。

性能アップで熟成保存を実現

平成26年度ものづくり補助金では、床部分の断熱材を変え、断熱性能を高めることで、貯氷庫をコ

ンパクト化し、貯蔵庫との一体型とすることでさらなるコストの削減を実現しました。

また、専用トレーラーを開発し、貯氷したままアイスシェルトアを運搬することができるようになりました。

農作物や清酒の貯蔵熟成試験を行った結果、鮮度や糖度、水分量など大きな品質の低下や変化は見られず、長期保存や熟成保存にも有効であることが証明され、地元産の食肉のドライエイジングやチーズの熟成などへの活用が広がっています。



可動式アイスシェルトアと製氷ユニット

畑が貯蔵庫に!新流通システムを構築!

無電化地帯にある農場も、アイスシェルトアさえあれば、エネルギーコストを全くかけずに農作物を冷蔵貯蔵し、採れたての鮮度を保ったままマーケットに出荷することができるため、地域の再生可能エネルギーを活用した新たな北海道ブランドの創出も期待できます。

おわりに

同社では、アイスシェルトアは、北海道と同様に寒暖差の激しいモンゴルの関心が高いことから、同国への事業展開に取り組んでおり、今後アイスシェルトアは日本のみならず世界の食を守る大きなシェルトアとして広がっていく可能性があります。

10月の道内景況

情報連絡員レポート



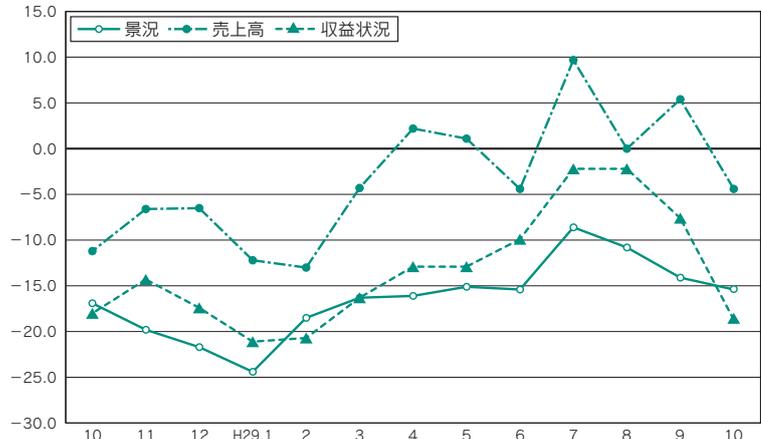
主要DI値がそろって悪化 厳しい状況

概況

主要DI値の推移では、3項目全てで悪化。特に「売上高」が再びマイナス値となり、「景況」「収益状況」は連続して悪化した。

業種別に見た前月との比較では、製造業では「販売価格」「雇用人員」で若干改善したが、「売上高」「収益状況」が大幅に悪化した。非製造業では全項目悪化し、特に「収益状況」の悪化が大きい。

主要DI値の推移



景況天気図(前年同月比)

	全業種			製造業			非製造業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
業界の景況	△14.1	△15.4	△1.3 ↓	△15.2	△15.2	0.0 →	△13.6	△15.5	△2.0 ↓
売上高	5.4	△4.4	△9.8 ↓	12.1	△3.0	△15.2 ↓	1.7	△5.2	△6.9 ↓
収益状況	△7.6	△18.7	△11.1 ↓	△3.0	△21.2	△18.2 ↓	△10.2	△17.2	△7.1 ↓
販売価格	5.4	6.6	1.2 ↑	3.0	9.1	6.1 ↑	6.8	5.2	△1.6 ↓
取引条件	1.1	0.0	△1.1 ↓	0.0	0.0	0.0 →	1.7	0.0	△1.7 ↓
資金繰り	△1.1	△4.4	△3.3 ↓	△6.1	△9.1	△3.0 ↓	1.7	△1.7	△3.4 ↓
雇用人員	△12.0	△13.2	△1.2 ↓	△12.1	△9.1	3.0 ↑	△11.9	△15.5	△3.7 ↓

(凡例) 30以上 10~29 9~△10 △11~△29 △30以下



天気図の見方 各景況項目について調査月と前年同月を比較して、「増加」(または「好転」)したという回答(構成比)から「減少」(または「悪化」)という回答(構成比)を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は上記のとおりである。

製造業

- 原料(すり身)の仕入価格が僅かながら上昇した。物流費も今月から上昇した。販売価格を少し上げて様子を見る企業が出始めた。
(水産食料品/全道)
- 輸入小麦と産産小麦は値上げになったが、製品1個あたりの価格が少額で、製品価格への転嫁はできず、利益率が下がる一方である。量販店などが値下げ品や安売りに力を入れているので、なかなか値上げをすることが難しい状況となっている。
(めん類/全道)
- 10月は台風の影響もあり悪天候が続いたが、売上は僅かに増加したようである。
10月1日から実施された最低賃金の値上げは、設備で劣る中小企業において確実に製造コストを引き上げており、製品の値上げを実施したいが、問屋・小売店が交渉のテーブルにさえ着いてくれないのが現状で、これをどの様に打破していくかが今後の大きな課題である。
(飲料/全道)
- 古紙の高騰により段ボール原紙が値上がりし、価格改定が余儀なくされている。
(加工紙/全道)
- 10月の生コン出荷量は386千m³で、前月比は0.2%減、前年同月

比は0.8%減となった。
地域別には、前年同月を上回った分会(協組)は29分会(協組)中、17分会(協組)で前年(増加は18分会(協組))を下回った。前年同月と比較して増加したのは、後志、旭川地方、室蘭など。一方で減少したのは、札幌、岩宇、札幌、北海道などであった。
(生コンクリート/全道)- 10月度の出荷数量、売上高については、路盤用とアスファルト合材用で前年対比増加したが、生コン用が前年対比減少したため、全体では前年対比減少した。
(砕石/札幌)
- 自動車は良かった。水道資材、建機・農機部品はやや良かったが、特殊鋼品はやや悪かった。
(鉄鉄鋳物/全道)
- 昨年度と比較すると、設備投資を行った企業は操業度・売上共に上昇したが、他の企業はほぼ横ばいか若干落ちている。全体をみるとほぼ同じ様子。これから冬期間が始まるため、建設関連企業は操業度の落ち込みを心配している。
(金属工作機械/江別)

非製造業(卸・小売・商店街・サービス業)

- 靴、履物では販売単価は低下傾向にあるが、冬物商品が好調な滑り出しで利益率が改善している。また物流面の改革により収益力を高める努力が奏功している。
市内オフィス需要が好調で、事務機器や什器備品、内装工事関係の取り扱い量が増加している。
一般消費者向けの雑貨等は大きな変化なく低位で安定している。
(各種商品/札幌)
- 昨年夏の台風以来通行止めだった日勝峠(国道274号線)が、関係者の努力により10月28日に開通した。
(各種商品/帯広)
- 取引先である小売業の推移があまり好調とは言えない状況で、動きがやや鈍くなっている感がある。ディスカウント、ドラッグストアなどが先導する価格競争のおおりに受けており、低価格商品の値上げ要請も聞こえる。
(菓子/全道)
- 10月から大手メーカーの資材価格が引き上げられたことにより、他社も価格上昇傾向がみられる。
銅ベースの上昇により電線ケーブル類も高値となっている。
(電気資材/全道)
- 10月取扱高は前年比101%の状況。各店舗で秋冬モノの販促を行っていたが、大きな売上増加とはならなかった。国政選挙の影響があったのか、飲食店の売り上げが減少する結果となった。
10月に入り、来春卒業の高校生の就職募集が始まった。今月最初の採用試験で8割程の就職希望者の採用が内定したと聞き、今後の景況が上向きとなることを期待する。
(各種商品/苫小牧)
- 10月の各組合員の状況について
報道等では前月同様、道内の街角景気は改善しているとのことだが、各組合員からは、選挙等もあり、釧根地域においては相変わらず厳しい状況が続いているとの声が多かった。その中で衣料品関係の組合員からは気温低下により冬物衣料の需要の高まりから、若干ながら景況感が上向いたとの声もあった。
(各種商品/釧路)
- 昨年10月に大型ホームセンターが加入し、オープンイベントで売上を伸ばしたが、前年比では10%減となった。
(各種商品/斜里)
- 原油価格の高騰による仕入価格の上昇が続いているが、販売価格に転嫁されていないため、収益は悪化している。

求人難による職員の確保が出来ず、SSの営業時間の短縮や日曜日の営業を中止せざるをえないSSもある。今後、暖房用燃料の販売などで繁忙期に入るが、配送の人員確保が心配となる。
(燃料小売業/稚内)- 秋鮭・魚卵(生筋子)等の不漁により、加工用原材料の不足と高騰が継続している。
(鮮魚/釧路)
- 補正予算、30年度予算に大きな期待もしていたが、地方にとってはこれまで同様厳しい状況が続いており、消費者の節約志向を煽ることばかりが目立ち、一部大手企業などでは景気のいい話も聞こえるが、石油販売事業者の経営者等からは嘆きの声ばかりが聞こえる。
(燃料/全道)
- 9月の日銀短観は北海道内企業の景況感の改善がさらに鮮明となり、有効求人倍率も上昇して人手不足が一段と強まっている。道内の中小のIT企業は相変わらずの深刻な人手不足が続いているが、加えて離職者対策も差し迫った問題として取り上げられている。そのための対応策として、
①契約社員などの非正規社員の正社員化と既存社員の賃金アップ
②長時間労働の抑制
③生産性を高めるために仕事に没頭できる戦略的オフィス環境の整備
④テレワークを活用した主婦や定年後のシルバー技術人材の採用を具体的に実施する中小IT企業が増加している。
しかしながら、これらは人材確保や設備への投資であり、収益を圧迫する要因でもあることから、首都圏からのシステム受託開発を請け負う中小のIT企業が多い道内では、それに見合う受託単金の伸びが必要であるものの、経営サイドが期待するほどの上昇には至らず、粘り強く交渉を続けているのが実情である。
(ソフトウェア/全道)
- 10月の十勝川温泉では一部ホテルの整備のため、部屋の稼働率は低下したが、宿泊入込数は34,516人で前年度比+2,297人、107%増加となった。
観光客は道外は前年比109%増加、インパウンドは前年比120%増加となった。
昨年は台風被害後の風評被害を受け、5,000人のキャンセルが発生した。昨年を加味すると平成27年度入込数と同等である。
(旅館/音更)

非製造業(建設・運輸業)

- 組合員の業況
10月に入り、受注した工事が順調に進捗し、完成してきている。年内に発注予定の工事が数本あるようなので、年内の雇用はほぼ確保できそうである。
問題点
慢性的な人員不足から、修繕工事に手が回らない状況がまだまだ続いている。
地域の実情
新たな土木・建築・設備工事等の発注はほとんどない。これからの工事は積雪寒冷の気象条件下での施工となることから、除雪作業人員も確保しながらの工事となり、利益につながらないこともある。
(管工事/名寄)
- 9月、10月と続けて燃料が高騰しているが、僅かずつであるが利益を

圧迫していると思われる。
(一般貨物自動車運送/小樽)- 10月は荷動きは良かったようだが、燃料単価が昨年より15%程度上昇しているのが気がかりである。
(一般貨物自動車運送/札幌)
- 軟弱野菜(大根・人参等)は産地により終了したところもある。出荷量は昨年並みの模様。馬鈴薯は順調で、玉葱も市況が悪いながらも出荷され始めた。
一般カーゴについては9月同様で例年並みの動きである。北海道発着の貨物に一部車輛の偏りがみられる。
域内輸送についても例年並みの動きである。
(一般貨物自動車運送/石狩)
- 売上高は前年同月比 5.5%減少
乗務員数は前年同月比 6.2%減少
9月分チケット取扱高は前年同月比 1.3%減少(一般乗用旅客/旭川)

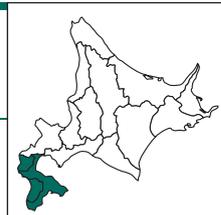
※情報連絡員から頂いた景況等のコメントの一部を抜粋して掲載しています。コメントの全文については、本会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。(本会ホームページ:<http://www.h-chukai.or.jp>)

支部だより



道南支部(函館市)

所管／渡島総合振興局・檜山振興局管内
駐在職員／金沢事務所長・廣木主事



冬のイルミネーションが始まりました！

函館では毎年、市内各地でイルミネーションが行われています。今年も12月1日から、「はこだてクリスマスファンタジー」「五稜星の夢」「はこだてイルミネーション」が始まりました。

今年で20回目を迎えた「はこだてクリスマスファンタジー」では、赤レンガ倉庫群前の海上に函館市の姉妹都市であるカナダのハリファックス市から贈られた巨大なクリスマスツリーが設置されています。毎日点灯式が行われるイルミネーションのほか、スーパーやスペシャルライブと盛り



はこだてクリスマスファンタジー

だくさんの内容で、12月25日までの開催です。「五稜星の夢」では、五稜郭の堀が電球で飾ら

れ、タワー展望台に登ると星のように浮かび上がった五稜郭を楽しむことができます。

「はこだてイルミネーション」では、観光スポットとして知られる二十間坂・八幡坂・開港通りが光で幻想的に彩られます。

「五稜星の夢」と「はこだてイルミネーション」は2月末までの開催予定です。是非この機会に冬の函館を訪れてみてはいかがでしょうか。



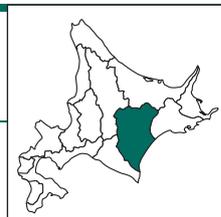
五稜星の夢



はこだてイルミネーション

十勝支部(帯広市)

所管／十勝総合振興局管内
駐在職員／田口事務所長・鎌田主任



南十勝生コンクリート協同組合が災害協定を締結

南十勝生コンクリート協同組合(亀田卓司理事長、組合員5人)と広尾町は10月、災害時の給水に関する協定を締結しました。

昨年発生した新潟県糸魚川市の大規模火災時に、ミキサー車による消火用水の供給が消火作業に役立ったことが注目され、地域住民の生活を守るため、各業界が自治体と防災協定を締結する動きが広がっています。

そこで、同組合は町内で災害が起きたときに組合員企業が所有するミキサー車を活用し、飲料水以外の生活・消火用水を供給する内容の協定を結びました。災害発生時に、迅速に生活用水を供給してもらえることは、非常に心強く安心です。



村瀬 優広尾町長(左)と亀田理事長(右)

おびひろシニアおもてなしNAVI(ナビ)発行

帯広市商店街振興組合連合会(夷石行夫理事長、会員8組合)が協力し、帯広市が作成した「おびひろシニアおもてなしNAVI(ナビ)」の配布を11月から開始しました。

これは、高齢者の方に市内中心部で買い物や食事等を楽しんでもらうことで外出機会を増やし、まちなかの活性化や各店の取組を知ってもらうために市が平成27年から毎年作成しているもので、店ごとのお得なサービスや情報を紹介しています。

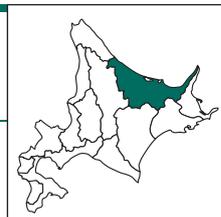
まちなかの活性化と高齢者の健康増進が一層進むことが期待されます。





網走支部(網走市)

所管/オホーツク総合振興局管内
駐在職員/津川事務所長・増田主任



針葉樹製材の格付け研修会を開催

北見地方木材協同組合連合会(江本博幸理事長、組合員8人)では、毎年度、組合員企業の建築用材に対する目利き技術の向上を図ることを目的とした『針葉樹製材の格付け研修会』を行っています。今年度は、遠軽町と北見市の組合員企業の工場でそれぞれ行われました。

通常、工場等で加工された針葉樹製材は、日本農林規格(JAS)に基づき格付けされますが、大きさや形状などにより用途や価格などが違ってくるため、格付けの作業は大変重要な仕事です。例えば、木材の表面にある『節』は、一般には腐敗が早く進む部分と考えられ、節の面積が



研修会の様子

大きくなるにつれて、その木材の格が落ちてしまいます。

研修は、林産物検査会の講師の指導のもと行われ、熱心に格付けの作業を学習した者からは、「より一層、格付けのポイントがわかった。今後の経常業務の中で活用したい」との声が聞かれました。

同連合会の市川安明専務理事は、「本研修会は、業界全体の品質の統一・向上を図る良い機会になっている。今後も実効ある研修会の開催を続けていきたい」と話していました。



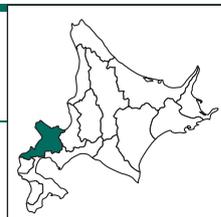
格付け作業を学ぶ参加者



研修会に使用された針葉樹製材

後志支部(小樽市)

所管/後志総合振興局管内
担当/連携支援部 佐々木主任



旧手宮線街路灯のLED化ボランティア活動

10月5日、小樽地方電気工事協同組合(花和嘉貴理事長、組合員77人)が、小樽市内の旧手宮線にある街路灯のLED電球への交換などのボランティア活動を行いました。

同組合では毎年、小樽市内の観光スポットの景観保持などに貢献するため、同様のボランティア活動を実施しています。



ボランティア活動風景

参加した組合員は、持ち前の技術や知識を活かし、街路灯18個の電球型蛍光灯を省エネ効果

と耐久性に優れたLED電球に交換するとともに、灯具の清掃、配線点検等の作業を手際よく実施しました。

交換したLED電球は、小樽市の景観や雰囲気とマッチするようレトロ調で暖かみのある電球色を選んでいきます。

同組合の花和理事長は、「写真を撮りに訪れる方が多い地区であるため、観光客や市民に憩ってもらえるよう、きれいに明るくしておきたい」と話していました。

地域貢献の取組の一環として、これまでも様々な活動を行ってきた同組合に、市民は今後も期待をしています。



中小企業大学校旭川校おすすめ研修のご案内

各市町村・金融機関・商工会議所・商工会等で助成制度があります。
詳細は、中小企業大学校旭川校（Tel：0166-65-1200）までお気軽にお問い合わせ下さい。

コース No.

23

顧客も従業員も幸せにする サービスを学ぶ

12月11日(月)～12日(火)

受講料 22,000円(税込) 対象者 経営者・
経営幹部(候補者)

研修のねらい

本研修では、顧客からの評価を高めるのみならず、従業員がやりがいを感じられ、かつ、会社の業績向上にも資するサービス向上を実現するための考え方と進め方を、具体的に学んでいただきます。

カリキュラム概要

- ・競争優位をもたらすサービスの本質を知る
- ・サービスの価値向上のポイント
- ・自社のサービス向上を考える

講師

松井サービスコンサルティング
代表 松井 拓己氏

コース No.

24

組織力を高める コミュニケーション・冬

12月13日(水)～15日(金)

受講料 31,000円(税込) 対象者 管理者・
新任管理者(候補者)

研修のねらい

本研修では、具体的な場面を想定した演習を通じて、実践的なコミュニケーション能力の向上を図ります。

カリキュラム概要

- ・信頼関係の構築(コミュニケーション基本スキル)
- ・傾聴を活かした顧客対応の方法と顧客満足向上
- ・相手の理解を得る「話し方」と「伝え方」

講師

S D Sネットワーク代表 渡辺 章二氏
株式会社キャラウィット代表取締役
中小企業診断士 上岡 実弥子氏

コース No.

25

5SとI Eで進める 製造現場の生産性向上

1月15日(月)～17日(水)

受講料 31,000円(税込) 対象者 経営幹部・
管理者(候補者)

研修のねらい

本研修では、5Sと見える化の定着及びI Eによる現場改善を進め、現場の生産性向上と収益改善への取り組み方策を検討すると共に、現場改善を通じた人材育成の考え方を学びます。

カリキュラム概要

- ・製造現場の生産性と会社の収益・財務の関係
- ・5Sと目で見る管理で生産性を上げる
- ・I E技法を活用して生産性を上げる
- ・5SとI Eによる改善効果

講師

株式会社ジェック経営コンサルタント
営業本部 部長 高田 忠直氏

コース No.

26

わが社の業務課題解決講座

1月23日(火)～25日(木)

2月26日(月)～28日(水) 延べ6日間

受講料 58,000円(税込) 対象者 経営幹部・
管理者(候補者)

研修のねらい

本研修では、業務の課題解決を行うために「企業のあるべき姿」を描いたうえで、現場主導の業務改革と実行計画を作成するとともに、組織の活性化を図るための総合的なノウハウを学んでいただきます。

カリキュラム概要

- ・経営戦略と経営分析の手法を学ぶ
- ・自社のビジネスモデルの作成
- ・業務改革推進計画作成
- ・プレゼン技法の習得

講師

有限会社ブレインズ・ワン代表取締役 阿部 裕樹氏
有限会社B・Pサポート代表取締役 田坂 和夫氏

講座内容詳細は、ホームページからもご覧いただけます。

中小 旭川

検索

資料請求や講座内容に関してお気軽にお問い合わせください。

電話 0166-65-1200

住所 旭川市緑が丘東3条2丁目2-1

中小機構 北海道

中小企業大学校 旭川校

経営者にも
退職金を!

小規模企業共済制度



ポイント① 常時使用する従業員が20名以下
(商業・サービス業では5名以下)の個人事業主、
個人事業主の共同経営者(2名まで)
及び会社の役員の方が加入できます。

ポイント② 無理のない掛金、税制面での大きなメリット!

- 掛金は毎月1,000円~70,000円(500円単位)の範囲内で自由に選択できます。
- 掛金は全額所得控除、受取りは「退職所得扱い」(一括受取)または「公的年金等の雑所得扱い」(分割受取)となります。

ポイント③ 事業資金の貸付け・災害時のサポートもあります!

- 事業資金等の貸付制度が利用できます(担保・保証人不要)。
- 地震・台風、火災等の災害時にも貸付けが受けられます。



全国加入者
約30万人の
実績!

経営セーフティ共済制度



ポイント① 中小企業で、引き続き1年以上事業を行っている方が加入できます。

- 取引先事業者が倒産して売掛金債権等が回収困難となった時に貸付けが受けられます。
- 取引先との商取引の事実確認だけで、迅速に貸付けが受けられます。

ポイント② 無理のない掛金、税制面での大きなメリット!

- 月額5,000円~200,000円(5,000円単位)の範囲内で自由に選択できます。
- 掛金は全額「損金(法人)」または「必要経費(個人事業)」に算入できます。

ポイント③ 最高8,000万円まで貸付けが受けられます。

- 掛金総額10倍の範囲内で、回収困難となった売掛金債権等の額
- 貸付条件は「無担保・無保証人」「無利子」※ただし、貸付けを受けた場合、貸付額の10分の1の額が、積立てた掛金から控除されます。

ポイント④ 40ヶ月以上掛けていれば、

- それ以降掛金を掛けなくても、共済金の貸付けは受けられますので安心です。
- 解約しても共済金の貸付けを受けていなければ積立てた掛金の全額が戻ります。



本制度についてのお問い合わせ・お申し込みは

北海道中小企業団体中央会

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1-7 3階

TEL / 011-231-1919
FAX / 011-271-1109

本制度は、法律に基づき独立行政法人
中小企業基盤整備機構が運営しています。

(独) 中小企業基盤整備機構
共済相談室

TEL 050-5541-7171

明日を創る 中小企業の ベストパートナーへ。

目には見えない大きな力で、私たちの暮らしを支え、日本の未来を変えてゆく。

中小企業は、モノづくりの国のいちばんの誇りです。

商工中金は、これからもずっと、中小企業専門の金融機関として
長年培った「心」と「技」に磨きをかけて、日本の中小企業をサポートしつづけます。

中小企業と、情熱と挑戦をともに。

札幌支店 札幌市中央区北2条西3-1-20 TEL 011-241-7231

函館支店 函館市若松町3-6 TEL 0138-23-5621

帯広支店 帯広市西三条南6-20-1 TEL 0155-23-3185

旭川支店 旭川市五条通9-1703-81 TEL 0166-26-2181

釧路営業所 釧路市大町1-1-1 TEL 0154-42-0671

ホームページ <http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

商工中金

北海道中小企業団体中央会

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 3階

TEL 011-231-1919 FAX 011-271-1109

ホームページアドレス <http://www.h-chuokai.or.jp>

発行日/平成29年12月1日(毎月1日発行)

*この機関誌は、誰もが読みやすいユニバーサルデザインフォントと環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。



表紙写真提供:ひがし大雪自然館